



2003～2004年度

THE ROTARY CLUB OF KOSHIGAYA-NORTH

例会日：毎週水曜日 12:30～13:30

例会場：越谷市千間台東1-1-6

クオレ千間台 2F

TEL 048 (975) 9898

FAX 048 (977) 3741

創立：1976年5月11日

会 長：小林 操

副 会 長：今野 忠雄

幹 事：太田 靖彦

会報委員長：石川 輝次



第1350回例会記録 No. 12

平成15年10月1日

司会：松崎 義一

編集：千葉 千秋

会次第

- 1、点鐘
- 2、国歌斉唱
- 3、ロータリーソング「奉仕の理想」
- 4、四つのテスト
- 5、会長挨拶
- 6、誕生祝い・結婚祝い
- 7、幹事報告
- 8、米山奨学生挨拶
- 9、点鐘
- 10、第4回クラブ協議会

次回例会予告

平成15年10月15日

ガバナー公式訪問

クラブ協議会

会長挨拶



会長 小林 操

こんにちは。今日は10月1日衣替えの日ですね。もう何年も前から、衣替えという言葉だけになっているようです。昔は洋服の入れ替え、夏物と冬物はっきりしていたように思えます。かなり前から、果物の季節感がなくなり、洋服も、トレンドなファッションと言え、季節を早取りすること見たいに、思われてきました。今年の夏は、冷夏で、残暑の9月が暑かったという印象があります。その印象がピッタリで、毎年、衣替えを前に、9月

中旬より、冬物の出荷が増えるのに、今年、9月が夏と言う感覚を与え、冬物の出荷が遅れているとのこと。お天気デリバティブによる保険がますます繁盛しそうです。

10月は米山月間、11月は財団月間です。米山記念奨学制度は、日本のロータリークラブの国際奉仕プログラムの典型的な活動です。ロータリー財団は、全世界のロータリークラブ活動の金庫と言っても過言ではないと思います。ロータリーを理解するならば、必ず、米山、財団に、進んで寄付をしたいと思います。会員の皆さん、いま私がお話したことにご意見等があれば、「原点に帰る」今年度、議論をしたいと思しますので宜しくお願い申し上げます。

これをもちまして挨拶に代えさせて頂きます。有難う御座いました。

幹事報告



幹事 大田靖彦

- 大阪で世界と出会う
国際大会（関西）パンフレットを
メールボックスに入れてあります。
ぜひ参考にして下さい。

誕生祝い・結婚祝い



【誕生日祝い】

石井秋野会員・小林政一会員
青木康國会員



【結婚記念日祝い】

西本好郎会員・鈴木由也会員
木村二夫会員・若海兵馬会員
堀野眞孝会員・岡崎 勲会員
小林 操会員・長島洋一会員
一柳昌利会員・長谷川真也会員

3分間ロータリー情報



ロータリー情報委員会 中村義雄会員

『日本のロータリークラブの歩み』

我が国最初のロータリークラブは**1920**（大正9）年**10月20日**に創立された東京ロータリークラブで、翌**1921**年に世界で**855**番目のクラブとして国際ロータリークラブに加盟が承認されました。

日本のロータリークラブ設立については、ポールハリスの片腕としてロータリー組織をつくり、海外拡大に情熱的に取り組んだ初代事務総長チェスリーペリーと創立の準備に奔走した米山梅吉、福島喜三次などの先達の力を忘れることが出来ません。

1939年**3月25日** 熊本RC創立

日本**35**番目に登録され戦争中にも各曜会として存続させ活動。

その後、日本ロータリーは第二次世界大戦の波に洗われて**1941**年に国際ロータリーから脱退します。

その間の**9**年の間にはいろいろの事が起こっております。

1943年 四つのテストの採用

1945年**8月6日**「広島」、**8月9日**「長崎」に原爆投下

1946年**4月** 米山梅吉 死去

1948年**9月** 福島喜三次 死去

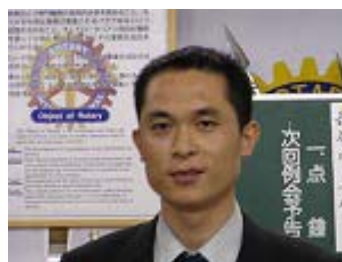
戦後**1949**年**3月**になって再び復帰加盟しますが、この時復帰に尽力してくれたのが国際ロータリー第**3**代事務総長ジョージミーンズでした。

その後の日本におけるロータリーの拡大発展は目覚ましいものがあります。原点に帰り、ロータリアンらしくあれ
ロータリーとは人道的な奉仕を行

い、あらゆる職業において高度の道徳的な水準を守ることを奨励し、かつ世界における親善と平和の確立に寄与することを目指した事業及び専門職務に携わる指導者が世界的に結び合った団体、これがロータリー。

そして現在世界**162**地域に広がりクラブ総数**31,314**、会員総数は**1,220,492,543**会員、その中で日本全体のクラブ数は**2,321**、会員数**109,983**人となっておりロータリー財団への貢献も抜群で今や国際ロータリーにおける日本の地位は不動のものになっております。

お客様挨拶



米山奨学生 邢子強 君

越谷北ロータリークラブの奨学生・邢子強と申します。

現在、文教大学の大学院の2年生で、言語文化を専攻しています。英語教育学の中で特に早期児童英語教育に興味を持って勉強しています。

私は5年前に、中国から日本に来ました。その時、日本語がほとんど分からなかったので日本語学校に入り、1年半通いました。その後、東京学芸大学で研究生として2年間勉強しまし

た。そして去年の4月に文教大学の試験に合格して大学院に入りました。

時間の経つのは本当に速く、卒業まであと半年となりました。振り返ると沢山の出来事がまるで昨日起こったようにはっきりと覚えています。

日本に来てから「英語を勉強しているのになぜ日本に来たか」と何度も聞かれたことがあります、それはなぜだろう。中国で大学4年生の時、卒業後の進路に悩んでいました。21世紀の社会競争が激しくて、十分な能力を持ってないと淘汰されるに違いないと思いきや視野を広げるために外に出ることを決断しました。

英語教育学を専攻しているから普通に英語系の国に行くのが当然だと思われるが、大学で日本語を第2外国語として2年間習って好きになり、もし日本語を身につけたら3ヶ国語が話せるようになるからと思い日本を選びました。日本に来る前に、日本は世界第2位の経済大国というイメージが強かったのです。位置的にも文化的にも非常に近い日本についての多くのことが以前から知っていました。世界で有名な日本車や品質が高い電気製品。きれいな環境や日本人の粘り強い性格などなど印象的でした。日本に来て、日常生活の中で以前に持っていた日本への印象と変わらないと実感しました。日本の数多くの素晴らしい所に感動しました。

日本にいる留学生の皆さんは分かると思いますが、日本の物価は世界一

高いので働きながら勉強している留学生にとって生活が大変です。頭が痛くなるほどの授業料だけでも悩んでいました。

今年の2月、その苦しい生活の中でロータリー奨学会の試験を受け合格することが出来ました。

現在は毎月その奨学金を受けながら勉強に集中しています。

経済的な心配もなくなり精神的にもロータリアンの皆様が励まして下さるので本当に助かりました。心から感謝しています。

私は以前から早期児童英語教育に興味を持っていて今はこれをテーマに論文を進めています。論文の中で早期英語教育の必要性について、基本的には日本と中国の早期英語教育の現状を比べながら優れる面も足りない面もあるから、欠点を分析して補うため結果として早期児童英語教育が必要とまとめています。

来年の3月に学校を卒業してから帰国の予定です。帰ったら日本で身につけた早期英語教育に関わる知識を生かして中国の状況に合わせて児童英語教育の勉強と研究を続けたいと思います。英語教育を目指して大学の教授になるのが夢です。

ここで改めてロータリー奨学会の方々とロータリアンの皆様に感謝いたします。私は皆様への感謝の気持ちをしっかり持って皆様の期待を裏切らないよう頑張っていきたいと思えます。

委員会報告



環境保全委員会 長谷川真也会員

「市民まつりのご案内」

11月23日（日）に行われます市民まつりの役割分担を班ごとに決めさせて頂きました。メールボックスに入れてございますのでご確認下さい。



親睦活動委員会 大熊正行委員長

「親睦ゴルフコンペのご案内」

先週、高橋正美さんの方からもご案内があったと思いますが、10月29日（水）は今年度第1回目の「親睦ゴルフ大会」です。ゴルフをやられる方には一通りメールボックスに案内分を入れさせて頂きましたが、手違いで入って無かった方がいらっしゃいましたら私の方にお声がけ頂ければお渡しいたします。先着5組20名の予定ですが、まだ少し空きがありますし、場合によっては1組くらいは増やしますので、お申込みお待ちしております。



職業奉仕委員会 長島洋一委員長

「次週の職業奉仕フォーラムについて」

来週は職業奉仕フォーラムです。外部卓話として砂原俊介氏をお迎えしております。卓話は1時間を予定しておりますが30分延長になりますので時間の都合をつけて来て下さい。内容は今後の日本経済の動向についてです。いろいろな著書が有ります、インターネットにも載っていますので見て下さい。

出席報告

会員数	50名
出席免除	4名
出席者	36名
欠席者	14名
出席率	78.3%
前回メークアップ	6名
前回修正出席率	84.8%

第4回クラブ協議会



司会：幹事 太田靖彦
*開会の挨拶 会長 小林 操

*クラブ協議会討論

(1) クラブ奉仕部門

- ① 会員増強、及び退会防止の具体的方法について
- ② ガバナー月信のメール化による地区負担金の合理性について

(2) 職業奉仕部門

- ① ロータリーの例会は、原則週1回定時（12：30）ですが、1ヶ月の中で昼と夜交互にすることが出来るか。出来れば出席率の向上になるのではないか

(3) 社会奉仕部門

- ① 今年度、スマイルを、職奉・社奉・国奉の3部門の予算の原資に当てているが、スマイルの良い集め方は

(4) 国際奉仕部門

- ① 海外親善旅行をするクラブが多いと思うが、旅行の際、どのような親善事業を行っているか